

第2回JOBナビすいた運營業務委託事業者選定委員会議事録

- 1 日 時 平成29年6月22日(木) 午後1時30～3時
- 2 場 所 吹田市役所 中層棟4階 第4委員会室
- 3 【出席者】 島谷委員、島村委員、清水委員、林委員、山崎委員
【事務局】 中嶋部長、熱田次長、中川室長、奥山総括参事、光岡参事、大音主幹、西村主査、大黒係員
- 4 案 件 プレゼンテーションによる委託事業者選定

事務局：ただいまより、プレゼンテーションを開始いたします。プレゼンテーションは、着席したままでも結構です。時間は15分間で残り時間1分前には、事務局からチャイムを鳴らします。時間内に終了しないときは、打ち切らせていただきます。それでは、よろしくお願いします。

【参加者番号 1番 プレゼンテーション】

委員長：ありがとうございました。それでは、ヒアリングに移りたいと思います。

【質疑応答】

委員長：私のほうからですね、今言われている労働法関係については、どういう感じになっているんでしょう。総括管理者、管理者の方が管理するということですか。

<1>：労務関係ですね。現場での統括に関しては、23ページの2段目にあります総括兼地域キャリアアドバイザーですね、常勤のものが、実務に関しての管理を行ってまいります。事業管理者に関しては、常勤ではございませんので、定期的にこちらのオフィスのほうで訪問させていただいて、事業全体の管理をさせていただくという形になります。

委員長：統括の方が労務環境を徹底して管理するという。今問題の時間外管理などもその方が徹底してされる。そういう届出等も出されているということですね。

<1>：はい、そうです。

委員長：わかりました。

委員長：この15ページの就職決定者調査の実施は、先ほど言われたように、確認については今後どういう形で確認を。

<1>：電話での確認をしてみたいです。確認時は必ず担当のカウンセラーの方から、直接連絡させていただきます。

委員長：その人を担当した人から、直接連絡していただけると。

<1>：はい。また、電話での就職状況の確認の折にですね、それぞれの来所促進であったり、セミナーを週二回開催させていただきますので、セミナーへの参加促進なども並行して実施させていただきます。

委員長：もう一度セミナーなどに参加してもらおうということですね。

委員：6ページの、新コンセプトの事業モデル、真ん中の下の部分、市の福祉部門・教育部門が、府内でも各支援機関との連携によるリファーを含めた生活支援をしていくということなんですけど、御社の方ですね、今までそういった府や市との取り組みをしてきた実績、それから、今これは企画の段階ではありますが、遂行するにあたっての課題や問題点などありましたら、教えていただきたいです。

<1>：現状ですね、市の福祉部門・教育部門との連携ということで、弊社のほうで現在、生活保護受給者の支援事業を多数受託運営させていただいております。そういった背景から、各就職困難者、市の生活福祉課含めて、福祉部門の連携等もケースワーカーの方々との連携であったりも、密に実績等はございます。あわせて、吹田市であれば、障がい者就業・生活支援センターさんであったり、ぷくぷくさんや BE Happy さん、各種団体さんとの連携とも、これまで就職困難者向けの支援を一体的に実施させていただいているという実績等はございます。課題としたしましては、こちらは、もちろんこれは一体的に支援をさせていただくことが大前提にあるのですけれども、求職者の同意がないと、やはり支援を受けていらっしゃる機関との連携が取ることができないというところでもあります。昨今、特に多くなっているのは、障がい等をオープンにしていらっしゃる方ではなくクローズの方、ご自身が気づいていらっしゃらない方、ご家族の方も症状であったりそういった部分に気づいていらっしゃらない方も大勢いらっしゃいますので、

ここに関しては、本人ときちんとしたカウンセリングの中で、どういった課題があるかとか、本人に気づいていただく。それから本人にそういった選択肢もあるということ、時間をかけて理解していただくということが、一番課題。これはなかなか簡単には解決していけないことですが、時間をかけて。本人の同意が取れば、各専門機関等とも連携をとりながら、役割を分けてですね、この部分は我々のセンターが、こちらの部分は専門機関のほうでサポートいただいて、最終的なゴールの就職へ向けて、という形での支援を実施していくという対策をとらせていただきたいと思います。

委員：日本社会で今クローズアップされている、LGBT についても同じような感じを取り組まれるということですね。ちょっと難しいこともありますけど。求職者とよく話をされて、どういった取り組みになるかということになるとは思いますが。非常に難しい問題ですけれども。

委員：広報業務でのパンフレットやポスター、配布する配架するということですが、どれくらいですか。

< 1 >：こちらは各配架先のご了承いただければと考えておまして、それぞれ支援対象者層ごとにですね。たとえば子育て女性であれば、もちろん図書館もそうなのですが、児童会館であったり、あとはお子さんの注射を打つ保健センターであったりとか、こういったところを新たにですね。対象層が集まる場所に、新たな配架先を開拓してまいりたいと考えております。シニアの方でいうと、やはり図書館であったり文化センターとか、といったところ、また、今でいうスポーツジムなどもよくシニアの方よく利用されているので、もちろんスポーツジムの了承を得られれば、チラシを配架させていただいて、定期的に部数などの補充等もさせていただきたいと思っております。チラシは大きいから無理だという所もありますので、啓発用カードという名刺サイズのをですね、そういったものも置かせていただけないかということも、配架先の事情に応じて調整させていただきたいと考えております。

委員：広報業務のほうにかかわってくるかと思うのですが、全般的に最初のところの考え方とところで、少子高齢化に対して、ということで、学生の登録者が著しく減少しているということで、やはりこういった4ページの1番のところにあるような、大学生または第二新卒生を増やしていくということで、広報のこともやっていると思っはいたのですけれども。これは特に今後、充実していくということでしょうか。今までは。

< 1 > : おっしゃられる通りで、今までも大学であったりも、チラシは配架いただきました。ただ、チラシの配架だけではなく、やはり実際直接学生にアプローチさせていただく。たとえば、これは大学のキャリアセンターさんとの一体的な事業実施ができないかという協議事項ではありますが、大学の中で、たとえば大学のキャリアセンターの繁忙期に出張で相談ブースを置かせていただけないかなど、そういった形での、センターの利用者拡大といったことにも取り組んでいきたいというに考えております。

委員 : よろしいですか。一つだけ。今いろいろお話を聞いている中で思ったんですけれどね。やはり求職者の方が減ってきているということで、せっかくこれだけの素晴らしい施設があつて、今までと違った何かをすることによって、イベントなのかわかりませんが、そうでないとこのまま減っていくのかな、と思うんです。これからも何かされるとは思いますけれども、何か活性化させていかないといけないのかなと思います。何か考えられているようなことはあるのでしょうか。

< 1 > : 今後いろいろな施策を実施していかなければならないというところです。利用者拡大ということが、どこの自治体さんのセンター事業でも大きな課題となっていると思います。これは対象層に合わせた、広報ということは、予算の問題もありますけれども、対象層に合わせた募集であったり、利用周知ということを徹底していくことは非常に効果があるものであつて、たとえば女性でいうと、先ほどの、来られる方のところにチラシとか啓発用カードとかを配架することはもちろんなのですけれども。女性の場合は、ママのコミュニティーの中に、インフルエンサーという影響力のある女性の方がいらっしゃつて、そういった方々を通じて発信をしていただくということでもありますとか。イベントを企画するということも一つなのですけれども、イベントだけですと、単発的に終わりますので、継続的にこのセンターを知っていただいて、来所、活用をしていただける工夫をと。いろいろご指導もいただきながらですね、検討して実施はしていきたいと考えております。大学の訪問も、一つの施策の一環ではあるのですけれども、いろいろ大学と共同でイベントを実施できないか。学生に対して、合説などイベントは実施しておりますけれども、JOBナビすいたとしてできることを、訪問の中で、大学のご意向も伺いながらで、作っていきたいと考えております。

委員長 : 他はよろしいでしょうか。それでは、これでプレゼンテーション並びにヒアリングを終了したいと思います。

委員長：以上をもちまして申請者によるプレゼンテーションは終了しました。只今から、各委員の先生方の採点に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。採点時間は10分程度でよろしいでしょうか。2時半ぐらいまででお願いしたいと思います。

【各委員採点】

委員長：それでは、事務局の方で集計をお願いします。

【事務局採点表回収・集計】

【事務局集計結果報告】

委員長：ありがとうございました。採点集計の結果、参加者番号1番の事業者について、委員の平均点が6割を超えており、JOBナビすいた運營業務委託事業者に適合すると判断し、選定したいと思います。よろしいでしょうか。

委員長：それでは、参加者番号1番について、事務局よりお願いします。

【事務局事業者報告】

委員長：ありがとうございました。それでは、今日の結果をもちまして委員長名でご報告させていただきます。これをもちまして、第2回JOBナビすいた運營業務委託事業者選定委員会は無事終了いたしました。どうもご協力ありがとうございました。